



経歴

1993年	近畿大学医学部 卒業 近畿大学医学部第一内科(循環器内科)入局 研修医	2000年	米国ハーバード大学医学部マサチューセッツ総合病院 心臓内科、研究員
1994年	春秋会城山病院で臨床研修(4ヶ月)	2002年	近畿大学医学部循環器内科 助手
1995年	近畿大学医学部第一内科 大学院 豊川総合病院に勤務	2004年	近畿大学医学部救命救急センター 助手
1996年	近畿大学医学部第一内科大学院生兼務医員	2006年	近畿大学医学部循環器内科 助手
1999年	近畿大学医学部第一内科 助手	2006年	近畿大学医学部循環器内科 医学部講師
		2008年	藪下脳神経外科・内科 副院長
		2024年	藪下脳神経外科・内科 院長

資格・所属学会	医学博士 日本循環器学会専門医 難病指定医<内科、循環器内科、神経内科、脳神経外科>	日本内科学会総合内科専門医 日本医師会認定産業医
---------	--	-----------------------------

やぶした ひろし
藪下 博史

医療法人 藪下脳神経外科・内科 院長

2024年8月より藪下脳神経外科・内科の院長に就任させていただきました。理事長の藪下隆三（前院長）の甥になります。和歌山市で生まれ、大阪狭山市で育ちました。近畿大学を1993年に卒業。そのまま第一内科、今の循環器内科に入局。当時の医局の方針で、研修医時代には循環器疾患以外の肺がんや肝硬変、骨髄異形成症候群など内科全般の診療にも携わりました。豊川総合病院では消化器内科の先輩・同級生から腹部エコーや胃カメラなどを含めた消化器内科診療を御指導いただきました。その後、大学に戻り、循環器内科医として一般病棟と救命センターを歩き来し、急性心筋梗塞、狭心症と不整脈に対するカテーテル検査・治療を中心に邁進してまいりました。藪下脳神経外科・内科では1996年から夜の外来に週1~2回非常勤として、2008年からは副院長として常時勤務させていただいております。

当院は1985年12月の開設以来、救急指定医療機関ではない中で、外傷をおった方の初期治療などで救急車の受け入れも積極的に行ってまいりました。当直の先生方の協力をいただき、かかりつけの患者様の夜間や休日の診療にも相談・対応させていただいております。また有床診療所として19床の入院施設を有しております。しばらく経過観察が必要な方、点滴などで頻回の対応が必要な方、ご自宅での対応が難しい方で軽傷であれば当院に入院し対応させていただくことが可能です。必要時は近隣の病院に即時紹介させていただいております。

脳と心臓という重要な臓器を専門とする2名の医師が常勤で対応します。気軽に受診いただき、お声がけください。これからも、地域の皆様から信頼され、支えられる有床診療所を目指して職員一同で日々努力を続けてまいります。今後ともよろしく願いいたします。



やぶした あきのり
藪下 哲成

資格・所属学会 日本脳神経外科学会
医療法人 藪下脳神経外科・内科 副院長

2024年8月付けで副院長を拝命いたしました、藪下哲成です。この場を借りまして、皆様にご挨拶申し上げます。

2017年1月より、脳外科医として当院の診療に携わってまいりました。専門外来では、物忘れ外来、認知症外来、脳卒中の後遺症などの痙縮に対してボツリヌス療法を行っています。新院長とともに職員一丸となって、理事長の藪下隆三（前院長）が取り組んできた地域に根ざした医療を引き継ぎ、安心、安全、満足していただける質の高い医療を目指します。

今後とも地域の皆さまのご期待に応えられるよう努力してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。